

R6 東海市立名和中学校 学校評価シート		○教育目標	・「自ら学び、きびしく自己を律する生徒」「礼儀正しく、互いに協力し合う生徒」「心身ともにたくましく、ねばり強く取り組む生徒」の育成をめざす。
住所	東海市名和町中首羅1-1	○特色ある教育	・合唱活動等の集団活動を通して、愛校心を養うとともに、自他を大切にすることを育む。
電話番号	052-601-2240 生徒450名	○地域の特徴	・コミュニティ・公民館を中心に、中学生ボランティアの活躍の場が多い。
校長名	岸本 良彦 16学級(内特支3)		

中期目標	今年度の目標	評価方法 (アンケート項目等)	結果の分析 ()内は、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」の合計、○%→○%は前年度からの変化	課題と対応策	学校関係者評価 令和6年2月13日実施	来年度の改善策 (誰が何をどうする)
自ら学び、きびしく自己を律する生徒	ICT機器を積極的かつ効果的に活用し、学ぶ喜びを実感できる授業づくりを行う。	生7 楽しい授業が多い。 生8 わかりやすい授業が多い。 保13 学校は、わかりやすい授業をしている。 教3 生徒たちは、授業の内容を理解している。 教7 わかる授業を実践している。 教8 楽しい授業を実践している。	生7 (68.3→70.7)、生8 (79.6→81.3) から、多くの生徒が授業に対してわかりやすいと回答している。保13 (55.7→60.7) も増加している。ICT機器の活用も軌道に乗り、生徒にとってわかりやすく楽しい授業を展開できているといえる。	今後もICT機器を活用し、生徒にとってわかりやすく楽しい授業を進めていく。	・クラス会議を通して生徒間の交流をしているのはとてもよい。 ・外国籍の生徒はどのくらい在籍しているのか。彼らが日本語を習得し、楽しく生活していけるようサポートしてほしい。 ・サポートルームを設置し、不登校傾向にある生徒が少しでも学校に来るきっかけとなっているのはとてもよい。市内全校に設置されるとよい。登校した際に、トランプなどのゲームをして関わり合う時間が大切だと思うので、継続してほしい。	・ICT機器の活用はもちろんのこと、生徒が意欲的に学習に取り組める方法を考え、実践していく。 ・落ち着いて生活できている現在の状況を今後も維持していけるよう、生徒の様子に気を配り、小さな異変を見逃さないよう努める。 ・サポートルームを活用し、不登校傾向にある生徒が少しでも登校し、さまざまな人と関わりがもてるよう働きかける。
	学習基盤(学習規律と学習習慣)を形成する。	生9 授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いている。 生19 家庭学習の習慣が身に付いている。 生22 名和中規律を守っている。 教20 名和中学習規律を徹底するよう指導している。	生9 (89.2→90.4) は増加している。生徒が授業に意欲的に参加し、規律を守って落ち着いた生活を送っていると言える。教20 (95.0→100) も増加しており、引き続き落ち着いた学習環境を維持していけるようにする。	学校全体として落ち着いて過ごすことができている。今後も規律を守って生活できるよう、引き続き働きかけていく。		
	ICT機器を積極的かつ効果的に活用し、教師の授業力向上を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。	生11 授業では、先生の説明だけでなく、発言・発表したり活動したりする時間がある。 生12 授業では、問題や課題に積極的に取り組んでいる。 生13 授業では、自分の考えを工夫して発表している。 生14 授業では、友達と意見を交換し、互いに高めようとしている。 教11 生徒を適切に評価している。 教18 授業力向上のために、研修・講習に積極的に取り組んでいる。	どの設問も昨年と同様の数値または増加している。特に生11 (83.7→88.7)、13 (68.5→71.0)、14 (84.7→87.9) が増加した。昨年度から学校全体で取り組んでいる「クラス会議」により、生徒同士が積極的に意見を交流する場を多く設定したことが奏功していると考えられる。	引き続き生徒同士の交流の場を意図的に設定し、生徒たちが切磋琢磨しながら互いを高め合えるよう支援していく。自己肯定感が高まり、安心して意見を伝え合えるような学級経営に努める。		
礼儀正しく、互いに協力し合う生徒	充実した学校生活を送り、自己や仲間を大切にすることを育む。	生1 名和中学校が好きである。 生3 毎日の学校生活が楽しい。 生6 学校では、元気よく明るくあいさつしている。 教5 生徒たちのよいところを認め、褒めている。 保11 名和中学校の先生は、子どもを大切にしている。	生1、3はどちらも9割近い生徒が「あてはまる、ややあてはまる」と回答している。教5 (95.0→100)、保11 (73.9→79.7) も増加した。落ち着いた雰囲気や学校生活を送れていることが大きい。	生徒が前向きに取り組めるような学習、行事等を展開し、落ち着いた楽しい学校生活を送れるようにしていく。	・名和中の合唱はすばらしい。毎年聞くのを楽しみにしている。 ・地域で出会うと、あいさつをしてくれる生徒も多い。中学校であいさつ運動などを引き続き実施するとよい。 ・緑陽、名和コミュニティの行事に中学生が多数参加し、活躍してくれている。参加者に優しく接している生徒の姿を見ることができ、好感がもてる。	・生徒会を中心に、名和小、緑陽小とも連携してあいさつ運動等を実施していく。 ・コミュニティ等のボランティア参加申し込みの簡略化(二次元バーコード利用)を継続し、ボランティアに参加しやすい体制とする。 ・生徒が引き続き合唱や行事に積極的に取り組めるよう、支援していく。
	郷土愛を育み、地域に貢献しようとする心を育む。	生20 地域の行事に積極的に参加している。 保7 あなたの子どもは、元気よくあいさつできる。 地2 名和中学校の子どもたちは元気よくあいさつできる。 地5 学校は、地域の活動や行事によく協力している。 教14 校区の地域行事等に出向き、実際に参加したり生徒の応援に出かけたりしている。	あいさつに関しては、生6 (81.1、前項目)、保7 (62.6)、地2 (81.1) と差がある。する側と受ける側で感じ方に違いはあるが、地域の一人として気持ちよく過ごすためにも、あいさつの大切さを指導していく必要がある。	校内だけでなく、地域、家庭でも明るく気持ちのよいあいさつができるよう呼びかけていく。生徒会によるあいさつ運動も引き続き実施していく。		
	合唱活動等の集団活動において、支え合い高め合う仲間づくりを推進する。	生2 名和中学校の合唱は自慢できる。 生15 学校・学年行事では、活躍する場がある。 教12 合唱活動を中心にした学校・学年行事について、趣旨を理解し実践している。 教13 合唱活動を中心にした学校・学年行事の成果は上がっている。 保8 合唱活動等の学校・学年行事を通して、生徒の成長が感じられる。 地7 名和中学校は、合唱活動等の学校・学年行事の充実を目指している。	生2 (90.9)、生15 (80.4)、教12 (93.1)、教13 (93.1)、保8 (85.5) と高い数値となっている。さまざまな場面で楽しそうに合唱に取り組む生徒の姿を見ることができ、集団形成においてとても有意義な活動であるといえる。	名和中学校にとって合唱はとても大切であり、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることができる取組である。今後も引き続き、合唱を取り入れて、生徒の健全育成に努める。		
心身ともにたくましく、ねばり強く取り組む生徒	命を尊び、健康で安全な生活を送るための教育を推進する。	生16 困ったとき、相談したい先生がいる。 生17 いじめなどに対して、先生はすぐに対応してくれる。 保3 名和中学校は生徒の安全・安心に配慮している。 教6 教育相談を充実させ、いじめ等の生徒の悩みに適切に対応している。	生16 (51.2)、保3 (72.2)、教6 (89.6) と差が見られる。教育相談やいじめアンケートなどで生徒が教師に相談できる機会を設けているが、生徒は多感な年頃でもあり、本音を打ち明けられているか心配である。	生徒の様子に気を配り、小さな変化を見逃さないよう努める。生徒指導部会や適応指導部会などを活用して生徒の様子を教師全体が把握し、多くの教師で生徒に関わっていく。	・先生達も、生徒とどのように接するとよいのか悩むこともあると思う。管理職や主任を中心に、先生たちのフォローもお願いしたい。 ・コロナの影響を受けていると感じる。現在さまざまな制限はなくなったが、小学校高学年から中学校にかけて、友人と関わる場面が少なかったことの弊害を感じる。体力不足も気になる。 ・SSW等とも積極的に連携してほしい。	・校内全職員で生徒の様子に気を配り、情報共有を確実に行う。 ・校内の生徒指導部会や適応指導部会のさらなる充実を図る。SSWやSCが会に参加できるように、時間割等日程の調整を行う。 ・必要に応じて、関係諸機関と連携を図っていく。
	キャリア教育を通して、生きる力の育成を図る。	生21 自分の将来について、考えている。 地6 学校行事で地域が協力できることがもつとある。 保10 名和中学校から協力依頼があれば、できるだけ協力したい。 教21 生徒の将来を展望し、体験的な活動を工夫している。	生21 (73.4→70.8)、地6 (74.2→67.5)、保10 (63.4→61.6) とやや減少した。卒業後の進路選択にとどまらず、将来を見据えた系統立った活動としていく必要がある。	今年度から外部講師などを招聘して実際に体験する活動を再開し、1年生が実施する。このような機会を活用し、将来設計について多面的に考えさせる場としたい。		
	学校・学年行事を通して、仲間とともに最後までやり遂げる力を育成する。	生5 仲間と協力して、積極的に学校・学年行事に取り組んでいる。 教22 学校・学年行事で、生徒が自己の成長を感じ、自己肯定感を得られるように指導している。	生5 (94.7)、教22 (96.5) とどちらも高く、特に生5は、昨年度に引き続き全項目で最も高い数値となった。仲間と協力することや積極的に取り組むことで、生徒が充実感を得ている。	生徒にとって、学校行事は大きく成長できる場となっている。生徒のがんばりを認め、今のよい状態を維持しながら、生徒の自己肯定感をさらに高めていく。		
地域の中で育つ生徒	保護者・地域への迅速かつ丁寧な情報発信と情報収集に努める。	生18 学校だよりや学年だよりなどの学校からの配付物を、きちんと家の人に渡している。 教15 生徒たちの健全育成のため、教職員間や地域の関係機関との情報交換を行っている。 教17 学校だより、ホームページ、学校ブログ等を通じて、学校の様子を知らせている。 保5 名和中学校からの通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている。 保6 名和中学校は、家庭の願いや声を聞いてくれる。 地4 学校からのお知らせ(たより・ホームページ等)により、学校の様子がわかる。	生18 (77.9→77.6)、保5 (76.5→74.9) とともにやや減少している。昨年度から市内一斉に導入されたメール配信システム(Nメール)により、重要度や緊急性の高いものは直接保護者に配信できるようになった。今後も学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校の様子を発信していく。	生徒の活動の様子を学校だよりや学年だより等で定期的に伝えていく。可能な場合は学校だよりにホームページへのリンク(二次元バーコード)を掲載し、より多くの人にホームページを見てもらえるようにする。また、保護者の声にしっかりと耳を傾け、改善が必要な内容は、学年で共有し、迅速に対応する。	・今後も引き続き、地域の一員としてボランティアに参加してほしい。 ・地域には高齢の方も多く住んでおり、家庭で出たごみを集積所まで運ぶことに苦労している。家の近くの高齢者宅のごみを、登校がてら集積所に運ぶようなボランティアができるとよい。高齢の方にとっては、ごみ捨ての負担軽減だけでなく、中学生との関わりをもつことに楽しみを見いだせるのではないかと。	・学校ホームページや学校だより等を通じて、学校の様子を発信していく。 ・学校公開等を定期的に設け、生徒の様子を保護者に見ていただく。 ・地域の行事に積極的に参加するよう、引き続き声をかける。 ・コミュニティや社会福祉協議会と協力しながら生徒が参加可能な新たなボランティアを模索する。
	地域行事等への参加や学校支援者(地域講師)を教育活動に導入する等、地域との相互交流の場を模索する。	生20 地域の行事に積極的に参加している。 教14 校区の地域行事に出向き、実際に参加したり生徒の応援に出かけたりしている。 保2 あなたの子どもは、校区の行事に積極的に参加している。 地5 学校は、地域の活動や行事によく協力している。	生20は(48.9→45.1)とやや減少しているが、地5は(74.2→86.5)と大きく増加している。地域の行事やボランティアに参加する生徒が固定化しつつあるが、参加した生徒はやりがいを感じ、一生懸命取り組んでいる。地域の方からも取組の様子についてお褒めの言葉をいただいている。	より多くの生徒が地域の行事に参加するよう呼びかけていく。ボランティア等の参加申し込みを二次元バーコードにすることで簡略化していただいているので、今後も継続を依頼する。		
	校区の2小学校との連携・交流を行い、小中9年間を見通した教育活動を実現する。	教19 小学校時からの生徒の実態をつかみ、個に応じた指導を心がけている。	教(85.0→86.2)と増加した。今後も引き続き、小学校との連携を密にし、生徒の実態に応じた指導を進めていく。	引き続き小学校と意見交換を行い、生徒の実態把握に努める。		